

令和5年度 里地里山活動状況アンケート（認定団体）

回答数

※割合100%整数化

	数	割合 (%)	割合(2) %
回答あり	18	72.0	72
回答なし	7	28.0	28
計	25	100.0	100

団体の運営等について

0

年代	数	割合 (%)	割合(2) %
昭和	0	0.0	0
平成8年	0	0.0	0
平成9年	0	0.0	0
平成10年	2	11.1	11
平成11年	0	0.0	0
平成12年	1	5.6	6
平成13年	0	0.0	0
平成14年	1	5.6	6
平成15年	0	0.0	0
平成16年	1	5.6	6
平成17年	2	11.1	11
平成18年	0	0.0	0
平成19年	1	5.6	6
平成20年	1	5.6	6
平成21年	0	0.0	0
平成22年	2	11.1	11
平成23年	1	5.6	6
平成24年	1	5.6	6
平成25年	1	5.6	6
平成26年	1	5.6	6
平成27年	1	5.6	6
平成28年	1	5.6	6
平成29年	1	5.6	6
計	18	100.5	105

Q2 会員数について

	人	数	割合 (%)	割合(2) %
0 以上 0~10	10 未満	1	5.6	6
10 以上 10~20	20 未満	7	38.9	39
20 以上 20~40	40 未満	3	16.7	17
40 以上 40~60	60 未満	3	16.7	17
60 以上 60~80	80 未満	4	22.2	22
80 以上 80~100	100 未満	0	0	0
100 以上 100~120	120 未満	0	0	0
計		18	100.1	101

Q3 会費について

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 有	11	61.1	61
2. 無	7	38.9	39
3. 未回答	0	0	0
計	18	100	100

【1. 選択の場合】円/年

円/年	数	割合 (%)	割合(2) %
1,000	7	58.3	58
2,000	2	16.7	17
5,000	1	8.3	8
6,000	1	8.3	8
7,000	1	8.3	8
計	12	99.9	99

Q4 年間活動予算について

	円	数	割合 (%)	割合(2) %
0 以上	100,000 未満	1	5.9	6
100,000 以上	200,000 未満	1	5.9	6
200,000 以上	400,000 未満	5	29.4	29
400,000 以上	600,000 未満	2	11.8	12
600,000 以上	800,000 未満	3	17.6	18
800,000 以上	1,000,000 未満	2	11.8	12
1,000,000 以上	1,500,000 未満	1	5.9	6
1,500,000 以上	2,000,000 未満	0	0	0
2,000,000 以上	2,500,000 未満	0	0	0
2,500,000 以上	3,000,000 未満	1	5.9	6
3,000,000 以上	3,500,000 未満	0	0	0
3,500,000 以上	4,000,000 未満	0	0	0
4,000,000 以上	5,000,000 未満	0	0	0
5,000,000 以上		1	5.9	6
計		17	100.1	101

Q5 年間の活動日数等について

	日/年	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	25 未満	3	18.8	19
25 以上	50 未満	6	37.5	38
50 以上	75 未満	4	25	25
75 以上	100 未満	1	6.3	6
100 以上	150 未満	0	0	0
150 以上	200 未満	1	6.3	6
200 以上	250 未満	0	0	0
250 以上	300 未満	1	6.3	6
300 以上	350 未満	0	0	0
350 以上	400 未満	0	0	0
計		16	100.2	100

Q6 年間の活動延べ人数について

	人	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	50 未満	0	0	0
50 以上	100 未満	1	5.9	6
100 以上	250 未満	5	29.4	29
250 以上	500 未満	7	41.2	41
500 以上	750 未満	2	11.8	12
750 以上	1,000 未満	0	0	0
1,000 以上	1,500 未満	0	0	0
1,500 以上	2,000 未満	0	0	0
2,000 以上	2,500 未満	1	5.9	6
2,500 以上	3,000 未満	0	0	0
	570 未満	1	5.9	6
計		17	100.1	100

Q7 主に活動に参加している人数について

	人	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	10 未満	9	50	50
10 以上	20 未満	3	16.7	17
20 以上	30 未満	3	16.7	17
30 以上	40 未満	2	11.1	11
40 以上		1	5.6	6
計		18	100.1	101

【最高年齢】

	歳	数	割合 (%)	割合(2)%
75 以上	80 未満	2	11.1	11
80 以上	85 未満	10	55.6	56
85 以上	90 未満	5	27.8	28
90 以上	95 未満	1	5.6	6
95 以上		0	0	0
計		18	100.1	101

【最低年齢】

	歳	数	割合 (%)	割合(2)%
10 以上	20 未満	1	5.6	6
20 以上	30 未満	1	5.6	6
30 以上	40 未満	2	11.1	11
40 以上	50 未満	3	16.7	17
50 以上	60 未満	5	27.8	28
60 以上	70 未満	3	16.7	17
70 以上	80 未満	3	16.7	17
計		18	100.2	102

【平均年齢】

	歳	数	割合 (%)	割合(2)%
40 以上	50 未満	1	5.6	6
50 以上	60 未満	1	5.6	6
60 以上	70 未満	3	16.7	17
70 以上	80 未満	13	72.2	72
計		18	100.1	101

Q8 土地所有者は活動団体に加入していますか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	12	66.7	67
2. いいえ	6	33.3	33
計	18	100	100

Q9 土地所有者との面会の頻度について

回/年	数	割合 (%)	割合(2)%
0	0	0	0
1	3	16.7	17
2	5	27.8	28
3	1	5.6	6
4	2	11.1	11
5 以上	2	11.1	11
10 以上	2	11.1	11
15 以上	0	0	0
20 以上	0	0	0
25 以上	2	11.1	11
その他	1	5.6	6
計	18	100.1	101

Q10 [※本質問は活動中に相続・売買等により土地の所有者が変わったことがあるという団体に伺います。]
土地所有者が変わった際、新しい所有者は活動に対し理解がありましたか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 理解があり継続して活動を行うことができた	9	50	50
2. 活動継続に至らなかった	0	0	0
3. その他	1	5.6	6
4. 未回答	8	44.4	44
計	18	100.0	100
その他 (内容)			
80%は継続できたが、20%は継続できなかった。			

Q11 活動の様子やイベント等をどういった手段で広報していますか？ (いくつでも)

※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 会報発行		2	8	8
2. HP、SNS等		8	32	32
3. 市町村の広報誌やタウン誌等		7	28	28
4. 特に広報をしていない		5	20	20
5. その他		3	12	12
6. 未回答		0	0	0
計		25	100	100
会報発行頻度(回/年)				
回/年		数	割合 (%)	割合(2)%
4		2	100	100
計		2	100	100
その他 (内容)				
※複数記述		数	割合 (%)	割合(2)%
自治会の回覧		1	33.3	33
ポスター、リーフレット		1	33.3	33
市観光団より発信、地域内への花鉢提供		1	33.3	33
計		3	99.9	99

Q12 団体としての活動内容を教えてください。（主な活動の上位3項目の番号を記入）

1位	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	7	38.9	40
2. 耕作放棄地対策	6	33.3	33
3. 森林整備	0	0.0	0
4. 景観保全	2	11.1	11
5. 有害鳥獣駆除	1	5.6	6
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	0	0.0	0
8. 生態系の保全	0	0.0	0
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	0	0.0	0
11. 里山文化保全	1	5.6	6
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	0	0.0	0
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	1	5.6	6
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	18	100.1	102

2位	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	1	5.9	6
2. 耕作放棄地対策	2	11.8	12
3. 森林整備	2	11.8	12
4. 景観保全	2	11.8	12
5. 有害鳥獣駆除	0	0.0	0
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	0	0.0	0
8. 生態系の保全	0	0.0	0
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	2	11.8	12
11. 里山文化保全	1	5.9	6
12. 都市と農山村の交流	4	23.5	24
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	1	5.9	6
19. 憩いの場/散策路等整備	2	11.8	12
20. 学校連携	0	0.0	0
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	17	100.2	102

3位	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	0	0.0	0
2. 耕作放棄地対策	3	17.6	18
3. 森林整備	0	0.0	0
4. 景観保全	4	23.5	24
5. 有害鳥獣駆除	1	5.9	6
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	1	5.9	6
8. 生態系の保全	1	5.9	6
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	0	0.0	0
11. 里山文化保全	2	11.8	12
12. 都市と農山村の交流	1	5.9	6
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	1	5.9	6
18. 市民活動/ボランティア講座	1	5.9	6
19. 憩いの場/散策路等整備	1	5.9	6
20. 学校連携	0	0.0	0
21. その他	1	5.9	6
22. 未回答	0	0.0	0
計	17	100.1	102

1～3位の合計	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	8	15.4	14
2. 耕作放棄地対策	11	21.2	21
3. 森林整備	2	3.8	4
4. 景観保全	8	15.4	15
5. 有害鳥獣駆除	2	3.8	4
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	1	1.9	2
8. 生態系の保全	1	1.9	2
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	2	3.8	4
11. 里山文化保全	4	7.7	8
12. 都市と農山村の交流	5	9.6	10
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	1	1.9	2
18. 市民活動/ボランティア講座	2	3.8	4
19. 憩いの場/散策路等整備	3	5.8	6
20. 学校連携	1	1.9	2
21. その他	1	1.9	2
22. 未回答	0	0.0	0
計	52	99.8	100

Q12また、活動のきっかけやキーワードとなるものに○をつけてください(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	10	14.5	14
2. 耕作放棄地対策	10	14.5	14
3. 森林整備	2	2.9	3
4. 景観保全	9	13.0	13
5. 有害鳥獣駆除	2	2.9	3
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	2	2.9	3
8. 生態系の保全	2	2.9	3
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	3	4.3	4
11. 里山文化保全	6	8.7	9
12. 都市と農山村の交流	6	8.7	9
13. 生活環境保全	1	1.4	1
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	1	1.4	1
16. 知識/技術の継承	1	1.4	1
17. 健康の維持増進	2	2.9	3
18. 市民活動/ボランティア講座	3	4.3	4
19. 憩いの場/散策路等整備	5	7.2	7
20. 学校連携	2	2.9	3
21. その他	2	2.9	3
計	69	99.7	98

Q13 活動の後継者はいますか。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	8	44.4	44
2. いいえ	10	55.6	56
計	18	100.0	100

Q14 後継者育成の取組を行っている場合は、その内容をご記入ください。

60～70代の加入促進
ボランティアに参加した中で意欲のある方を勧誘し、まずサポート隊、必要により会員になってもらう
研修制度の設置(R5)会員による田んぼオーナー制度の導入(R6)
新規活動の応援

Q15 里地里山活動団体同士の連携等がありますか？(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 作業に関するアドバイスや技術等の提供を受けている	6	21.4	21
2. 作業に関するアドバイスや技術等を提供している	6	21.4	21
3. 機材の貸し借りをしている	4	14.3	14
4. 活動事例を参考にするための研修等の人的交流	4	14.3	14
5. 特にない	5	17.9	18
6. その他	3	10.7	11
計	28	100.0	100
その他(内容)			
水田の水管理の調整			
イベントの際の野菜販売の協力等			
年に一度他地域の花の里の見学、研修を実施			

Q16 会費、行政からの補助金等の他に、団体の収入源がある場合は、その内容を記載してください。

生産物(米、カボチャ、シイタケの原木、カボス、ざる菊の鉢植え、ポピーの切り花)の販売
ユークロップ企画の委託(野菜畑の種蒔き、草取り、収穫体験等の食育(委託費 800,000円/年))
保育に関する収入、宿泊交流事業収入
石庄庵より60,000円の助成
落花生、さつま芋堀などの収穫体験の参加費
募金箱を設置し「管理・維持にご協力ください」と呼びかけ

活動計画について

Q17 活動計画等の策定にあたり活動場所の調査を実施しましたか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	14	77.8	78
2. いいえ	3	16.7	17
3. 未回答	1	5.6	6
計	18	100.1	101

内容	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 土地所有者		10	17.2	17
2. 隣接地の様子		5	8.6	9
3. 交通の便		2	3.4	3
4. 地形		4	6.9	7
5. 地質		2	3.4	3
6. 土壌		4	6.9	7
7. 湧水		1	1.7	2
8. 災害危険箇所		3	5.2	5
9. 農作物		5	8.6	9
10. 樹木		3	5.2	5
11. 草花		4	6.9	7
12. きのこと		1	1.7	2
13. 哺乳類		2	3.4	3
14. 小動物		3	5.2	5
15. 鳥類		4	6.9	7
16. 爬虫類		0	0.0	0
17. 両生類		0	0.0	0
18. 魚類		2	3.4	3
19. 昆虫		2	3.4	3
20. その他		1	1.7	2
計		58	99.7	99

調査をした方	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 会員	13	92.9	93
2. 会員以外の外部専門家	0	0.0	0
3. 会員及び外部専門家	1	7.1	7
計	14	100	100

Q18 目標とする里地里山のイメージがありますか？ある場合、それはどのようなものですか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	14	77.8	78
2. いいえ	3	16.7	17
3. 未回答	1	5.6	6
計	18	100.1	101

【1. ある場合】 【イメージの内容、キーワード】	数	割合 (%)	割合(2) %
原風景の保全、景観の維持、環境整備	10	76.9	77
農地復元、耕作放棄地対策	3	23.1	23
計	13	100	100

【1. ある場合】 イメージの内容
河辺の景観と利水による水田管理
ホテル保全を目的であったので当初は人の出入りに閉鎖的であったが、市民が喜んでいるので、最近は多少開放するようになっている。人が入ってホテルに影響があるか調査している。
暮らしやすい里山の景観
果樹や桜の育成とその下にふさわしいふきやわらびの山菜の育つ里山
耕作放棄地を元の田んぼにし、米作りをするとともに、山すその草刈り等を行い景観を保つ
人と自然の共生。田畑があり小川が流れる多種多様な生物が生息するとともに、人間の穏やかな暮らしがある空間
生物多様性に富んだ里山に大勢の人たちが自然を楽しみに訪れる
中山間の特徴を生かした篠原川を中心とするまとまりのある里山
景観保全
昔ながらの保全整備が行き届いてそれなりの景観が保たれてゆったりとした味わいの有る場所になる
耕作放棄地がなくなりきれいな里山にして花(ケイトウ)で彩る。以前はざる菊を植えていた。
荒地をなくす。
平成19年に市内大学の研究機関により花の里構想の方向付けがあり従来かあ桜の里として始まった特色に、景観植物”ざる菊”と”ポピー”の促成を実施。

Q19 目標とする里地里山のイメージがある場合、それは何年後のイメージですか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 既に整備済	5	35.7	35
2. 作業直後	0	0.0	0
3. 1~2年後	2	14.3	14
4. 3~5年後	2	14.3	14
5. 5年後以降	2	14.3	14
6. 未回答	3	21.4	21
計	14	100.0	98

Q20 団体が整備したあとの里地里山を使った活動 又は 既に整備済みの里地里山を利活用されている場合はその活動内容等を教えてください。

対象者	※複数回答あり	数	割合 (%)	割合(2) %
市民、県民、都市住民		5	41.7	42
観光客		0	0	0
園児・児童		1	8.3	8
会員		6	50	50
ボランティア		0	0	0
各種団体		0	0	0
退職した方		0	0	0
計		12	100.0	100

活動内容
田植え、どろんこ遊び、稲刈り、河川観察等
農産物の生産
散策路の整備とピオトブ周辺の整備
休耕田を整備し稲作、菜園で野菜を栽培
野菜の収穫、種まき等
田植えや稲刈りなどの農業体験
米作り、野菜作り（みょうが）
ロウバイ祭り（1月上旬～2月上旬）
里山遊び、稲作、お花畑、菜園
ブルーベリー-摘み、みかん狩り、ほたる観察、炭焼、生物観察
桜祭り、ホテル観察等
里山での休息、遊び場、たけのこ堀体験、田植え体験などの農体験

活動場所について

Q21 活動場所（面積等）を教えてください。

箇所数	数	割合 (%)	割合(2) %
1	10	55.6	56
2	1	5.6	6
3	2	11.1	11
4	4	22.2	22
5	0	0.0	0
6	1	5.6	6
7	0	0.0	0
8	0	0.0	0
計	18	100.1	101

合計面積 (ha)	数	割合 (%)	割合(2) %	
0.0 以上	1.0 未満	6	33.3	33
1.0 以上	2.0 未満	5	27.8	28
2.0 以上	3.0 未満	3	16.7	17
3.0 以上	4.0 未満	2	11.1	11
4.0 以上	5.0 未満	1	5.6	6
5.0 以上	15.0 未満	1	5.6	6
15.0 以上	100.0 未満	0	0.0	0
100.0 以上	110.0 未満	0	0.0	0
計	18	100.1	101	

Q22 活動場所に含まれるものに○をつけてください（いくつでも）

	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 田(休耕田含む)		12	25.5	26
2. 畑(休耕地含む)		15	31.9	32
3. 樹園地		9	19.1	19
4. 水辺(溜池や水路等)		4	8.5	9
5. 二次林		4	8.5	9
6. その他		3	6.4	6
計		47	99.9	101

その他(内容)
雑木林の整備
山すその草刈り
ロウバイ

Q23 活動場所は普段、一般開放されていますか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 近隣住民等が自由に散策できる	8	44.4	44
2. 常時開放はしていない(予約制等)	2	11.1	11
3. 立ち入り禁止としている(無断で入らないよう柵、看板等で注意喚起している)	0	0.0	0
4. その他	6	33.3	33
5. 未回答	2	11.1	11
計	18	99.9	99
その他(内容)			
電気柵の設置があり、物理的に立入不可			
一部立入を禁止			
農機具等が置いてあり、普段はめている			
一部立入禁止としている			
イベント時はOK、その他は原則立入禁止			
鳥獣害対策で電気柵を設置			

Q24 活動場所を一般開放している場合、安全対策への取り組みや考え方を教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
事実上立入れない	1	10.0	10
看板設置	1	10.0	10
藤沢市で通路を整備している。	1	10.0	10
掲示板、立札で注意喚起	1	10.0	10
山奥のため立ち入りはない	1	10.0	10
柵や注意喚起	1	10.0	10
花見台への昇降階段保全。散策路にウッドチップをまくなど。	1	10.0	10
特になし	3	30.0	30
計	10	100.0	100

Q25 活動場所で栽培している作物について、多い順に1から番号をつけてください。

1番			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	8	44.4	44
2. 畑作物	6	33.3	33
3. 果樹	1	5.6	6
4. きのこと類	0	0.0	0
5. 景観作物	2	11.1	11
6. その他	1	5.6	6
7. 未回答	0	0.0	0
計	18	100	100

2番			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	4	28.6	29
2. 畑作物	4	28.6	29
3. 果樹	3	21.4	21
4. きのこと類	0	0.0	0
5. 景観作物	3	21.4	21
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	14	100	100

3番			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	2	25.0	25
3. 果樹	3	37.5	38
4. きのこと類	0	0.0	0
5. 景観作物	2	25.0	25
6. その他	1	12.5	13
7. 未回答	0	0.0	0
計	8	100	101

4番			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	0	0.0	0
3. 果樹	0	0.0	0
4. きのこと類	1	100.0	100
5. 景観作物	0	0.0	0
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	1	100	100

5番			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	0	0.0	0
3. 果樹	0	0.0	0
4. きのこと類	0	0.0	0
5. 景観作物	1	100.0	100
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	1	100	100

1～6番の合計	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 米や麦	12	28.6	29
2. 畑作物	12	28.6	29
3. 果樹	7	16.7	17
4. きのこと類	1	2.4	2
5. 景観作物	8	19.0	19
6. その他	2	4.8	5
7. 未回答	0	0.0	0
計	42	100.1	101
※選択肢は6番（その他）までであるが、回答の記載は5番までしかなかった。			
その他(内容) ロウバイ そば、桜			

Q26 活動場所の広さについて、該当するものに○をつけてください。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 広い	6	33.3	33
2. 少し広い	3	16.7	17
3. ちょうど良い	7	38.9	39
4. 少し狭い	2	11.1	11
5. 狭い	0	0.0	0
6. 未回答	0	0.0	0
計	18	100.0	100

活動内容について

Q27 農地の再生や、林地保全の整備作業の時に使用している道具を教えてください。（いくつでも。○をしてください。）

	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 刈り払い機		18	26.5	26
2. チェーンソー		13	19.1	19
3. 鋸		12	17.6	18
4. 手カマ		12	17.6	18
5. 大ガマ		3	4.4	4
6. 鉋		5	7.4	7
7. その他		5	7.4	7
		68	100.0	99
その他(内容) クワ、脱穀機、稲刈り機、耕運機、フロアー、田植え機、ハンマーナイフ、運搬機（軽トラ等）、トラクター、薪割機、ユンボ、スコップ、種蒔き機				

Q28 農作業時や整備作業時、その他の活動時に、あれば便利 又は 今後欲しいと思う機材等があれば、ご記入ください。

	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
ハザカケパイプ		1	11.1	11
小型耕運機		1	11.1	11
発電機（もみすり機に使用したい）		1	11.1	11
チップパー		1	11.1	11
竹チップパー		1	11.1	11
林内運搬用機材		1	11.1	11
トラクター		1	11.1	11
マルチャー		1	11.1	11
平地草刈機		1	11.1	11
計		9	99.9	99

Q29 道具(機械類)の管理等について該当するものに○をつけてください（いくつでも）

保有の形態	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 個人で購入		8	34.8	35
2. 会費等を原資に団体で購入		14	60.9	61
3. リース等		1	4.3	4
計		23	100.0	100

保管場所	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 個人で保管		7	36.8	38
2. 団体が所有する物置等に保管		11	57.9	58
3. 未回答		1	5.3	5
計		19	100.0	101

機械類の整備	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 個人で行う		7	38.9	39
2. 団体の活動の中で行う		10	55.6	56
3. 未回答		1	5.6	6
計		18	100.1	101

Q30 作業で生じた伐採木や枝葉、草刈り後の草などをどのように処理していますか？(いくつでも)

※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 燃料として利用		2	6.9	7
2. 林内に蓄積		8	27.6	28
3. ごみ処分		6	20.7	21
4. 腐葉土作り		7	24.1	24
5. クラフト材料		1	3.4	3
6. その他		4	13.8	14
7. 未回答		1	3.4	3
計		29	99.9	100
その他(内容)				
※複数回答		数	割合 (%)	割合(2)%
焼却(消防署の許可を取る)		1	33.3	33
肥料		1	33.3	33
燃料		1	33.3	33
計		3	99.9	99

Q31 活動の記録方法について該当するものに○をつけてください(いくつでも)

※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 作業日誌(毎回作成)		8	28.6	29
2. 作業日誌(ときどき作成)		3	10.7	11
3. 写真、ビデオ		14	50.0	50
4. 特に記録していない		2	7.1	7
5. その他		1	3.6	4
計		28	100.0	101
その他(内容)				
※複数回答		数	割合 (%)	割合(2)%
会員の作業参加体制はしっかりと把握している。		1	100.0	100
計		1	100.0	100

安全対策について

Q32 ここ数年の間において活動中の事故(熱中症等を含む)がありましたか？

		数	割合 (%)	割合(2)%
1. あった		3	16.7	17
2. なかった		14	77.8	78
3. 不明		1	5.6	6
計		18	100.1	101

Q33 [※問32で「あった」という団体に伺います。] 事故等の内容について教えてください。

負傷等の種類		※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 切創、刺創				0	0.0	0
2. 挫傷、打撲				1	33.3	33
3. ハチ、蛇等の咬傷等				0	0.0	0
4. 虫、植物等によるかぶれ				1	33.3	33
5. 熱中症等				0	0.0	0
6. その他				1	33.3	33
計				3	99.9	99
その他(内容)						
		※複数回答		数	割合 (%)	割合(2)%
捻挫				1	33.3	33
計				1	33.3	33

事故の発生時		※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農作業中				0	0.0	0
2. 農地再生、林地保全整備中(チェーンソーの取扱い中を含む)				1	50.0	50
3. 草刈り中(刈払い機の取扱い中を含む)				0	0.0	0
4. その他				1	50.0	50
計				2	100.0	100
その他(内容)						
		※複数回答		数	割合 (%)	割合(2)%
防護柵設置中の段を踏み外した。				1	33.3	33
計				1	33.3	33

原因として考えられること		※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 作業内容等の周知不足				0	0.0	0
2. 知識/技術不足				1	33.3	33
3. 周囲への不注意				1	33.3	33
4. 機材の不備、点検不足				0	0.0	0
5. その他				1	33.3	33
6. 未回答				0	0.0	0
計				3	99.9	99
その他(内容)						
		※複数回答		数	割合 (%)	割合(2)%
人手不足による疲れ				1	100.0	100
計				1	100.0	100

Q34 活動日に実施している安全対策を教えてください

活動前にその日の活動内容、注意点を参加者全員で確認している	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	15	83.3	83
2. ときどき実施	3	16.7	17
3. 実施していない	0	0.0	0
計	18	100.0	100

作業中は、一定時間ごとに休憩(給水等)をとるよう声をかけている	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	16	88.9	90
2. ときどき実施	2	11.1	11
3. 実施していない	0	0.0	0
計	18	100.0	101

活動終了後はヒヤリ・ハットの有無など、作業の振り返りをしている	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	3	16.7	17
2. ときどき実施	14	77.8	78
3. 実施していない	1	5.6	6
計	18	100.1	101

Q35 整備作業実施時に、区域内に部外者が立ち入らないような対策をしていますか。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 対策をしている	3	16.7	17
2. 特に対策をしていない	15	83.3	83
3. 不明	0	0.0	0
計	18	100.0	100

対策内容	数	割合 (%)	割合(2)%
チェーンソー使用日の立入禁止	1	50.0	50
代表者が注意	1	50.0	50
計	2	100.0	100

Q36 傷害保険の加入の有無について教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 団体に加入している	7	38.9	39
2. 会員個人での加入にて対応	5	27.8	28
3. その他	4	22.2	22
4. 未回答	2	11.1	11
計	18	100.0	100

年払保険料額 (円)	【※ 団体加入の金額】 円/団体		
2,160			
3,500			
15,000			
20,000			
50,000			
100,000			
※記載があったのは、6団体			
その他(内容)	※複数回答		
ボランティア保険	3	60.0	60
加入していない	2	40.0	40
計	5	100.0	100

Q37 加入している保険の補償内容を教えてください (いくつでも)

	※複数回答可		
	数	割合 (%)	割合(2)%
1. チェーンソー等動力を使う機具使用に対応	8	25.8	26
2. カマ、オノ等手動作業に対応	7	22.6	23
3. レクリエーション活動のみに対応	3	9.7	10
4. 個人での加入のため不明	0	0.0	0
5. 農作業中	7	22.6	23
6. その他	4	12.9	13
7. 未回答	2	6.5	6
計	31	100.1	101

その他(内容)	※複数回答		
	数	割合 (%)	割合(2)%
活動全般	2	66.7	67
研修視察時に加入	1	33.3	33
計	3	100.0	100

Q38 「救命講習※」の受講状況を教えてください。
 ※各消防本部が実施する応急処置技能講習(修了証が発行されるもの)をいいます

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 受講したことのある会員がいる(普通救命講習)	11	61.1	61
2. 受講したことのある会員がいる(上級救命講習)	1	5.6	6
3. 受講したことのある会員はいない	2	11.1	11
4. その他	2	11.1	11
5. 未回答	2	11.1	11
計	18	100.0	100

Q39 チェーンソーや刈払い機を扱う作業を行うときの実態について教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 安全衛生特別教育を受けた会員のみが機械を使用(講習を義務付けている)	2	11.8	12
2. 安全衛生特別教育を受けていない会員も機械を使用している	8	47.1	47
3. 必要に応じ団体内で安全講習会の開催や指導教育をしている	3	17.6	18
4. その他	1	5.9	6
5. 未回答	3	17.6	18
計	17	100.0	101

【3. 選択の場合】頻度(回/年)

回/年	数	割合 (%)	割合(2)%
1	1	33.3	33
2	1	33.3	33
3	1	33.3	33
計	3	99.9	99

その他(内容)
 今後、研修の機会を設けたい。

Q40 整備作業の時に着用している防護具等を教えてください(いくつでも)。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. ヘルメット	11	29.7	29
2. ゴーグル(バイザー)	9	24.3	23
3. 防震手袋	4	10.8	11
4. イヤーマフ(耳栓)	1	2.7	3
5. 防護ズボン(チャップス)	2	5.4	5
6. 切創防止靴、足袋	7	18.9	19
7. 着用していない	2	5.4	5
8. その他	0	0.0	0
9. 未回答	1	2.7	3
計	37	99.9	98

Q41 「労働安全衛生法に基づく林業機械の取扱講習等※」の受講状況を教えてください。
 ※林業・木材製造業労働災害防止協会等が実施する刈払機等の安全衛生特別教育(修了証が発行されるもの)をいいます。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. (会員数の)概ね8割以上が受講済	2	11.1	11
2. 概ね半数程度	1	5.6	6
3. 2割以下	6	33.3	33
4. 受講したことのある会員はいない	4	22.2	22
5. その他	0	0.0	0
6. 未回答	5	27.8	28
計	18	100.0	100

Q42 ※問41で「受講した会員がいる」という団体にお聞きます] 受講した業務を教えてください。

	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 伐木等の業務		2	10.0	10
2. チェーンソーを用いて行う伐木等の業務		6	30.0	30
3. 刈払機取扱作業		8	40.0	40
4. その他		0	0.0	0
5. 未回答		4	20.0	20
計		20	100.0	100

活動に当たっての課題

Q43 活動を行うにあたり、課題となっているものがあれば記載してください。

【キーワード】	数	割合 (%)	割合(2) %
会員の高齢化、後継者問題	9	69.2	69
労働力、資金不足	2	15.4	15
農業生産条件が悪い	1	7.7	8
その他	1	7.7	8
計	13	100	100

【回答内容】	数	割合 (%)	割合(2) %
会員の高齢化	3	23.1	23
後継者問題（会員の）高齢化	1	7.7	8
会員の高齢化。後継者の候補はいるが、年齢が若い(仕事がある)ため活動への参加はできていない。	1	7.7	8
東南に山があり、杉等の木が高くなり、田んぼの山側が特に日当たりが悪い。	1	7.7	8
会員の高齢化、後継者不足	1	7.7	8
作業の動員、平日に勤めている人は難しい。どうやって参加者を確保するかが課題。	1	7.7	8
チェーンソーや草刈りの講習を受けたい。	1	7.7	8
人手不足、資金不足	1	7.7	8
会員及び自治会員の高齢化が進み農家の後継者がいない。今後は、そのような農家（会員及び自治会員）の支援を、ある程度の費用が掛かることを前提にして「支援制度」を立ち上げたい。	1	7.7	8
高齢化が進み、後継者の問題。	1	7.7	8
会員30名の高齢化と次世代会員の受入について大きな課題がある。各自の地域愛と景観植物を育てる楽しみ、お客様の来訪とその喜ばれる姿に力づけられています。地域のコミュニティづくり居場所づくりに大きな効果がある。	1	7.7	8
計	13	100.1	103

Q44 利用している支援制度(補助金や企業等による助成金等)があれば教えてください。(県農地課の補助事業：認定協定活動団体支援事業を除く)

制度名
飯山の観光振興のための補助金

Q45 必要だと思う支援に○をつけてください(いくつでも)。

	数	割合 (%)	割合(2) %
※複数回答可			
1. 資金関係(各種助成金等の情報、整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	12	66.7	67
2. 研修会等(農業機械等の安全研修、作業指導、活動計画作成、各種調査)	2	11.1	11
3. その他	1	5.6	6
4. 未回答	3	16.7	17
計	18	100.1	101

【参考】 ※分類して記載のあった回答

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 資金関係(各種助成金等の情報)	1	5.0	5.0
2. 資金関係(各整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	1	5.0	5.0
3. 研修会等(農業機械等の安全研修)	0	0.0	0.0
4. 研修会等(作業指導)	0	0.0	0.0
5. 研修会等(活動計画作成)	0	0.0	0.0
6. 研修会等(各種調査)	0	0.0	0.0
7. その他	0	0.0	0.0
8. 未回答	0	0.0	0.0
計	2	10.0	10.0

Q46 県の施策について、このまま継続して欲しいと思うことに○をつけてください。(いくつでも)

	数	割合 (%)	割合(2) %
※複数回答可			
1. 保全活動に対する補助	14	36.8	37
2. 体験活動に対する補助	7	18.4	18
3. 資機材に対する補助	10	26.3	26
4. サミット等活動団体間の情報共有や交流	6	15.8	16
5. コーディネーター制度	1	2.6	3
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	38	99.9	100

Q47 県の施策について、改善して欲しいと思うことを記載してください。

内容	理由
農機具の補助が当初だけであり、10年単位くらいで補助を出してほしい	全ての農機具を中古購入しているが近年価格も高く厳しい。
グループ会員の地域限定はやめて欲しい	活動できる（土地）所有者がいない。
活動地の写真を県の広報媒体で紹介して欲しい。	SNS等を熟知した会員がいないため。

Q48 県の施策のコーディネーター制度を利用しようと思いますか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	2	12.5	13
2. いいえ	12	75.0	75
3. 未回答	2	12.5	12
計	16	100.0	100
希望時期			
	数	割合 (%)	割合(2) %
3月頃	1	50	50
2024 上半期	1	50	50
計	2	100	100
相談内容			
後継者育成、新規活動の発掘			

今後の活動の展望やご意見等がございましたら、ご自由にお書きください

県内各団体は大小があり、一くりにするのは無理があると思います。財政当局との予算確保の資料になれば助かります。
会員の高齢化が進み活動維持が難しく収束の方向で進んでいる。
4月上旬は活動地が最も美しいので時期なので、多くの都市部の県民に来ていただきたい。
資金面での助成の継続をお願いします。
アンケート内容が多すぎる(もう少し集約を) 里地里山保全事業を達成するには(高齢化、無償ボランティアが少ない、機器類の整備が多い、自己負担が多い)など、体力負担、人の負担、機器の負担、物の負担が重荷になっている。 補助金対象地(農地、林地、樹園地)の見直しが必要、特に景観地には人手や機器が多くかかっているが支援金がないボランティア活動者の募集や手配を行政でしてほしい 団体の活動内容を行政も把握してほしい。出来れば少しの実体験で現場を知る。 補助金額をアップしてほしい。必要なものが購入できない。大学生やボランティア活動者の交通費、飲食等にも使用可能になれば。
会員の高齢化と次世代会員の参加を求めた活動も急務である。会員相互にい地域の里地里山の荒廃を危惧しつつ、景観作物を育てている。その意欲と汗の結果として、ざる菊、ポピーの開花の時の楽しさを実現しています。 そして、飯山の地を訪れる皆様から喜びの声がありざる菊栽培の会話が畑の中で交わされるなど、それも楽しさの一つです。 ぜひとも、私たちの活動が継続的たには持続可能な飯山の里が、信仰と自然の恵みを活かした里地里山で有り続けられるよう、頑張る思いです。